

KANSAI Young Rheumatologist Unite Conference

【日時】2024年7月20日(土) 16:00~18:20

【会場】中之島ダイビル32階 会議室

大阪市北区中之島3-3-23

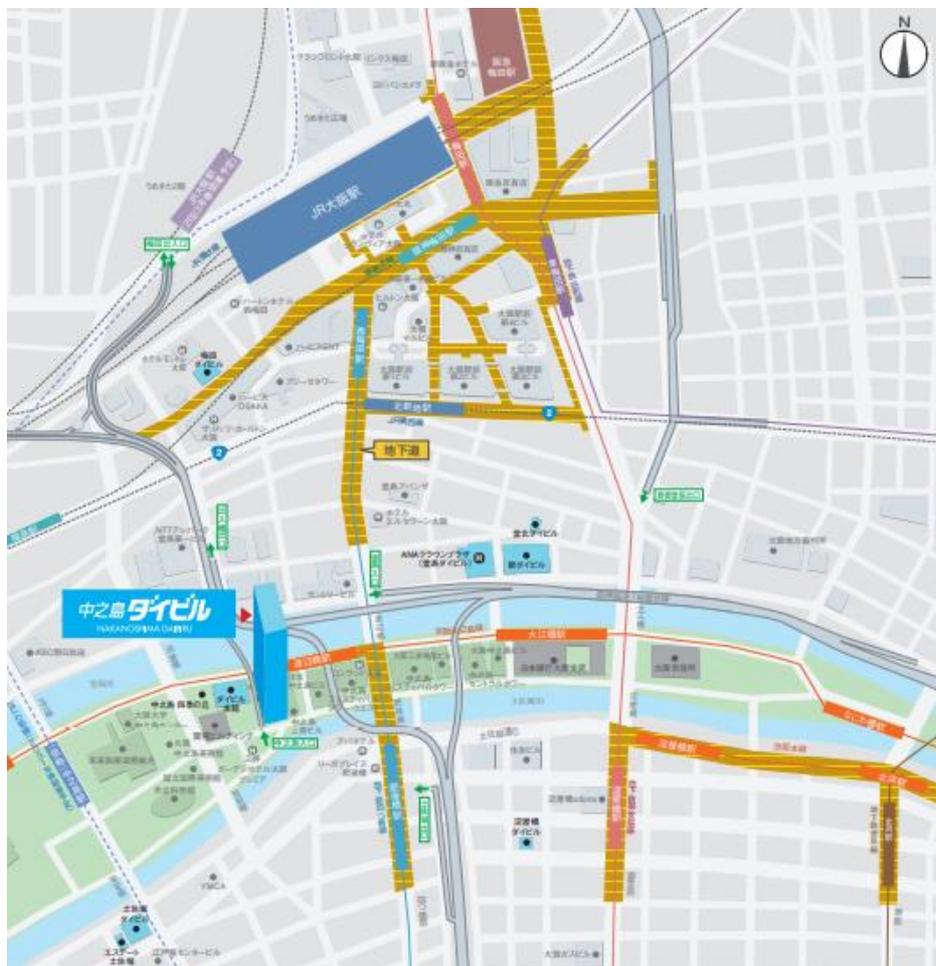
講演会終了後には、情報交換会をご用意しております。



■京阪中之島線「渡辺橋駅」	地下道	徒歩 1分
■地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」	地下道	徒歩 4分
■JR「大塚駅」		徒歩 14分
■地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋駅」		徒歩 9分
■JR東西線「北新地駅」		徒歩 9分
■阪神本線「福島駅」		徒歩 9分

JR新大阪駅	
肥後橋	約12分*
淀屋橋	約12分
*徒歩時間および乗換時間を含む	
JR 新大阪	

✈ 大阪国際(伊丹)空港	
■大阪・梅田からシャトルバス利用	約25分
■新大阪からシャトルバス利用	約25分
✈ 関西国際空港	
■難波から南海電車(特急ラビット)利用	約34分
■シャトルバス利用	約48分
■天王寺からJR(特急はるか)利用	約30分



会場は「中之島ダイビル」となっております。
隣の「ダイビル本館」とお間違えないようご注意ください。

ご登録頂きました個人情報は個人情報保護法に基づき厳密に取り扱わせていただき、講演会に関するご案内・ご連絡、及び当社からの情報提供に利用させていただきます。

KANSAI Young Rheumatologist Unite Conference

【第一部】

16:00~17:00

「テーマ:IL-6」

【開会の辞】

近畿大学病院 血液・膠原病内科 准教授 野崎 祐史 先生

【特別講演Ⅰ】

座長) 北野病院 リウマチ膠原病内科 主任部長 井村 嘉孝 先生

『 RA治療におけるIL-6阻害の意義 -TNF/JAK-IRを超えて- 』

演者) 大阪公立大学大学院医学研究科 膠原病内科学

教授 橋本 求 先生

【特別講演Ⅱ】

座長) 神戸大学医学部附属病院 膠原病リウマチ内科

病院教授 三枝 淳 先生

『 今だから試されるIL-6R阻害薬の使用経験に 基づいたベストユース 』

演者) 近畿大学病院 血液・膠原病内科 准教授 野崎 祐史 先生

----- 休憩 -----

KANSAI Young Rheumatologist Unite Conference

【第二部】

17:10~18:10

「症例ディスカッション」

【座長】

和歌山県立医科大学医学部 リウマチ・膠原病内科学講座 准教授 岩田 慈 先生
兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科 准教授/アレルギー・リウマチ内科
診療部長 東 直人 先生
大阪医科薬科大学 内科学IV リウマチ膠原病内科 講師 小谷 卓矢 先生

<発表7分、質疑応答3分 合計10分>

- ・大阪医科薬科大学 内科学IV リウマチ膠原病内科 丸山 苑華 先生
「巨細胞性動脈炎と鑑別を要したメンケベルグ型動脈硬化症の治療経験」
- ・大阪公立大学大学院医学研究科 膠原病内科学 前期研究医 富樫 救 先生
「眼窩先端症候群を生じた多発血管炎性肉芽腫症の治療経験」
- ・近畿大学病院 血液・膠原病内科 星野 真理子 先生
「膿疱様皮疹と多発関節痛から掌蹠膿疱症を疑われた不明熱の治療経験」
- ・神戸大学大学院医学研究科 腎臓・免疫内科学分野 宮本 千晴 先生
「当院で治療したTAFRO症候群症例から得られた臨床的疑問に対する考察」
- ・兵庫医科大学病院 アレルギー・リウマチ内科 西井 聖二 先生
「再発性多発軟骨炎疑いの経過中にVEXAS症候群の発症を疑った症例」
- ・和歌山県立医科大学医学部 リウマチ・膠原病内科学講座 西川 太郎 先生
「40歳で診断に至った小児型低ホスファターゼ症の治療経験」

【閉会の辞】

西宮市立中央病院 リウマチ・膠原病内科 部長 平野 亨 先生